

むすびめ通信

Musubime works for the better society



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.009 2020年2月号



年末に行われたアフリカ大忘年会での各国ファッションショーにて(会場:JICA中部)

いつも通信をご覧いただき、ありがとうございます。本号では、
昨年の帰国後からの日本での活動を報告いたします。

イベント開催(名古屋市)

アフリカ・コーヒーツアー【10月19日,22日】

～エチオピアのお話しと美味しいコーヒーの淹れ方ワークショップ～



名古屋でエチオピア活動を支えてくれている友人(中島靖代さん:写真右手前)との協働企画で、2018年にスタートしたコーヒーセミナーですが、今回は内容を改良し新たな仲間を迎えて「アフリカ・コーヒーツアー」というテーマで開催しました。①エチオピア活動報告②アフリカ面白トーク③コーヒーの美味しい淹れ方ワークショップの3本立てにより、参加者のみなさんにエチオピアを身近に感じていただきながら日頃のコーヒータイムが少しでも豊かになるように、そしてコーヒーから繋がりができるように、という願いを持って運営しました。



メンバーによるオリジナル焙煎



国別コーヒーの味わい比較ワークショップ

ワークショップでは、現地調達した生豆と、アフリカ数か国の生豆を集め、バリスタや焙煎技術を持つメンバーたちと選んで独自焙煎をしたものを使用しました。当日会場には、コーヒーの良い香りが立ち込め、エチオピア滞在経験が豊かなメンバーのアフリカ面白トークにより盛り上がりみせ、参加者の皆さんとの交流の時間を持てたりと、様々な得意分野をもつボランティアメンバーたちによる運営サポートのもとで、創り上げることができたイベントでした。恐縮ながら不行き届きもあったことと存じておりますが、お越しくださった皆さま、激励くださった皆さまに、改めて心からの感謝を申し上げます。

エチオピアのコーヒーセレモニー体験【11月9日,30日】

コーヒー発祥の地であるエチオピアには、長い歴史に根付いた豊かなコーヒーの文化があります。コーヒーセレモニーと呼ばれる伝統的な淹れ方は現地ですごく一般的ですが、日本では余程のコーヒー好きか渡航経験者でない限り、まだまだ馴染みがありません。私がエチオピアに関り続ける理由の一つは、現地の方々と一緒に過ごすことで知る違いや価値観から学んだことを日本に届けたいという願いがあるからです。(報告会では活動概要だけでなく、異文化交流・相互理解により学んだ経験談の話もさせていただきます)。その一つである「他者を思いやる」人々の優しさは、時間をかけて淹れたコーヒーでもてなし、一緒にゆったりと時を過ごす日常の習慣にも結びついていると感じていました。



その歴史と文化を伝えたいと願う中で、名古屋に在住されているエチオピア人と日本人のご夫婦からの暖かいご協力を賜り、本場さながらのコーヒーセレモニーを開催することができました。参加者された方々からはエチオピア文化への関心やボランティア活動参加への興味の声をいただいています。今後も日本でこのような輪を広げていきたいと願っています。



本場の道具が準備されました



ボランティアをしてくれたメンバー

これらの活動を通して、今後も私たちが開催するイベントでは、コーヒーを用いた「喜びの空間(居場所)づくり」というコンセプトを持ちつづけたいと、思いを確かになりました。エチオピアで言い伝えられているコーヒー発見の物語には、家族を敬いながら一生懸命働いたヤギ飼いのカルディ少年が主人公として登場するのですが、少年は、口にすると幸せな気持ちになるその豆を発見した時、家族や他者の祝福を願って周りの人へ伝えたことで、それが世界へ広がったと言われています。

人との関係が希薄になっていると言われる日本社会において、エチオピアのストーリーとコーヒーが「小さな喜びの種」として蒔かれた時、「人と人が繋がる」きっかけになって、祝福が広がってほしいと願っています。今後もメンバーの得意分野を活かしながら日本各地で「居場所・空間づくり」に取り組む方々と協働の元、アレンジを加えながら開催していくことを目指しています。

北海道(釧路市・登別市)訪問 10月26日~31日



報告会とバザーを開催された釧路キリスト福音館のみなさん



兼ねてからエチオピア活動をお支えくださっている方がいらっしゃる釧路と登別に報告に伺いました。釧路では、バザーを兼ねたエチオピア報告会が地域教会(釧路キリスト福音館)にて開催され、販売を通してこの活動を支援してくださいました。コーヒーセレモニーも振舞ったところ大変好評をいただき、お年寄りから子どもまで、興味津々に様子を見たり質問してくれたり、焙煎豆の煙と香りが充満する部屋で団らんしながらコーヒーを楽しまれている様子が何とも嬉しく、エチオピア文化を用いた地域交流の新しい可能性を思われました。



世界食料デー登別大会実行委員のみなさん

登別市では、市長や教育委員会、中高生、各種市民団体の方々が力を合わせ、約30年に渡りエチオピアと関り続けています。今回は、中心的にその運営を担われている実行委員の皆さんとの懇親会を持ちながら報告の時を持ちました。こちらでもコーヒーセレモニーを味わっていただいたところ、好評を得られて感謝でした。

今後の主な予定

今年は秋の第29回世界食料デー登別大会に合わせて、エチオピアの協力先パートナーの日本巡回が計画されています(FVIと協働)。また、エチオピア活動での長期的な必要に向けた準備を考慮したうえで、日本での活動に重点を置いた年間計画を立てています。活動報告やイベント等も引き続き行っていきますので、ご関心がありましたらご連絡ください。

- 春以降：エチオピア渡航(現地パートナー企業訪問、トレーニング経過観察、提携小学校との地域奉仕活動など)
- 秋頃：世界食料デー登別大会に合わせたエチオピアパートナーの来日など。

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

Email: sayuri@karashi.net



★インスタで、活動の様子や日常のひとこまを配信中★

Instagram account フォローしてね♪

@sayu_mw / @musubimeworks

市との協働で支援しているエチオピアの小学校の生徒による絵画作品の展示は、毎年恒例となっており市民の方々に親しまれています。授業を楽しみにしていた子どもたちの大はしゃぎの様子や、学校長からの喜びと感謝の声もお届けし、交流を深めながら、今後の打合せなどを行ないました。



公民館等に展示されている児童画



福岡(久留米市・福岡市)訪問 11月24日~28日



福岡女学院大学国際キャリア学部特別講義にて。安達社長(写真左から2人目)/千葉教授:写真右側

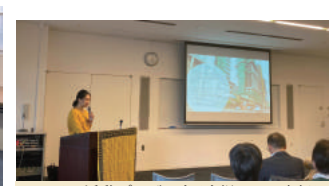


活動報告の様子

福岡では地域教会(久留米聖書教会)での活動報告や、カフェやコーヒー事業をされる方々との交流、福岡女学院大学の国際キャリア学部での、特別講義(あだち珈琲 安達社長による、事業での国際貢献)への参加と学生に向けたエチオピア活動紹介、博多インターナショナル・スクールでのエチオピアの子どもたちのお話しなど、様々な機会をいただきました。初めての巡回にも関わらず、多くの出会いとインプットがありました。エチオピアを通じた新たな繋がりが日本で広がり始めた事への感謝と今後に期待して、協働と相互に学び合える関係を模索していきたいと思えます。



博多インターナショナルスクール



アフリカ活動プレゼン会(会場: JICA 中部)でのエチオピア報告(12月)

支援のための募金・献金方法

経済的支援をもってご協力くださる方はお手数ですが右記の口座にお振込みください。報告はニュースレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。ご支援を心より感謝いたします。

①ゆうちょ振替口座 口座番号: 00180-0-300201
名義: FVI

★通信欄に「湯本指定」とご記入ください。

②ゆうちょ振替口座 口座番号: 00830-9-137685
名義: 湯本沙友里

他行等から 店名: O八九店 当座 0137685

支援金はどちらの口座も同様に、派遣・国内活動に関わる経費に充てられます。FVI名義は、湯本がサブスタッフとして関わる非営利団体「声なき者の友」の輪を通して税理士より監査を受け、年次報告いたします。ウェブサイト(karashi.net)から閲覧可能です。